

# がん診療連携拠点病院等における がん診療の実態把握に係る適切な評価指標の確立に資する研究

## 現状と課題

- 各がん診療連携拠点病院等（拠点病院等）によるがん医療提供体制の実態（がん対策推進基本計画が目指す姿に向けて機能しているか）に関して、患者・家族の視点や多様な立場の医療提供者の視点を含めた継続的な質の評価が望まれている。
- 拠点病院等の現行の現況報告書に関して、次期整備指針の策定に活用できる客観的な評価指標（運用状況や進捗等を確認できる評価指標）の検討はなされていない。

拠点病院等の運用状況や進捗等を確認できる  
客観的な評価指標の策定

策定した評価指標による評価の可能性の検証

## 研究のゴール

- 拠点病院等の診療の質や実態を継続的に評価できる指標を開発し、拠点病院等の整備指針の策定に活用する。
- 共通の指標に基づく各拠点病院等や各地域、さらに全国におけるベンチマーキングやPDCAサイクルの推進を共有し、「がん対策推進基本計画」の策定や「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」等における議論に資するエビデンスを提供する。

R4年度：・評価指標の洗い出しと整理＜既存データベース（院内がん登録・DPC・レセプトNDB・患者体験調査等）、がん対策推進協議会等における議論、拠点病院等の活動に関わる既存研究班（高齢者・AYA・生殖医療・希少がん等）や地域医療機関へのヒアリング＞  
・拠点病院等に対するアンケート調査の計画＜必要な評価指標や現場が評価を望む活動等について、現場からの意見の収集＞

## 研究計画・方法

R5年度：・拠点病院等に対するアンケート調査の実施と解析  
・拠点病院等を対象とした意見交換会の実施＜アンケート調査に基づいた更なる現場の意見の収集＞  
・選定された評価指標の測定に関するパイロット調査の計画＜実際の評価指標を用いた調査方法を検討＞

R6年度：・パイロット調査の実施と解析＜各指標が拠点病院等の実態を示すのに有効かどうかの検証＞  
・拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な新しい評価指標を提言する。

## 期待される効果

- 策定した評価指標により、拠点病院等の活動実態をより明確に評価でき、各施設における継続的なPDCAサイクルの促進につながる。
- 指標を各都道府県、または全国的に継続的に調査しベンチマーキングすることで、各地域または全国のがん医療の実態や質の改善状況を把握できる。
- 新たな指標の評価に基づいて、拠点病院等の適切な指定やがん対策推進基本計画へのエビデンスの提供を行うことができる。